

障連協にゅーす

第 31 号

発行日 2014年1月25日
 編集 NPO法人
 旭川障害者連絡協議会
 発行者 高津 修
 住所 旭川市宮前通東4155番地30
 旭川市障害者福祉センター
 「おびった」3F
 電話 0166-31-2226

■障連協にゅーす 31号目次

1 年頭の挨拶、道立特別支援学校を誘致する市民集会

2 障害者週間記念事業、バス運賃割引の実現めざして、編集後記

年頭の挨拶

新年を迎え、お慶び申し上げます。

皆様のご健勝とご多幸をお祈り致します。

昨年は異常気象で国内においても、記録的な猛暑となったり集中豪雨や自然災害による多くの犠牲者も出ました。被災されました方々に心からお見舞い申し上げます。

また国内では人を簡単に殺害をした事件ニュースが頻繁に起きました。特に家族で高齢者を殺害するという事件も多発していますので残念でなりません。これからは益々高齢者が増えて来ますので、家族愛を特に大切にすべきと思います。

旭川障害者連絡協議会【省略：障連協】事業に対しましてご理解とご協力を賜りまして誠に有難うございます。昨年は、障連協の団体と障害者問題の意見交換会として、旭川市長との市民懇話会、今津衆議院議員との意見交換会、旭川市議会との意見交換会が行われました。初の試みでもありこのような機会を継続していくべきと思います。

旭川市障害者福祉センター「おびった」の開設が、2002年7月で12年目を迎えます。多くの市民や一般企業、障害者が体育館でのスポーツや会議室の利用、プールでの水浴訓練室、機能回復室でのリハビリとしての利用、3階の周回廊の「歩く」利用とがあります。「おびった」は安心、安全な場所でもありますので、より多くの人にご利用を願いたいと期待しておりますが、市民の方でまだまだ旭川市障害者福祉センター「おびった」をご存じない人が多くみられますので、機会がありましたらPRにもご協力お願いいたします。

これからは障害者にとっても、消費税の値上がりや年金の減額、医療費関係や介護関係の厳しい区分け等を考えますと苦しい生活になると思いますが、でも生きて行かねばなりませんので個々に創意工夫しながら生活をして行きましょう。

常に健康管理して、私も半身マヒ状態ですので特に身体障害者の方は、歩行時は急がず、焦らず絶対に「転倒しない」ように心掛けて行きましょう。今年度も皆様方のご支援、ご協力を心からお願いいたしまして年頭のあいさつとします。

旭川障害者連絡協議会 理事長 高津 修

「旭川市道立特別支援学校を誘致する市民集会」

平成25年10月26日、旭川市公会堂にて、300余名の市民の皆さんが集まり行なわれました。

誘致期成会会長の西川市長より「必ずや平成28年度本市への設置が確定するよう今後揺るぎない誘致活動を展開していく。さらに本市に設置された場合に於いて、実習や卒業後の就労などに向け、より多くの地元企業へ理解と協力を求めていく」との決意表明が述べられました。

高等養護学校をつくる会の活動としては来年6月に道教委より発送予定の適正配置計画案に「平成28年度旭川市で設置」が明記されるよう道・道教委へのさらなる要望。設置が決まった後のことも視野に入れ旭川商工会議所や地元企業など実習先、就労に向けての関係機関等に協力を仰ぐことを予定しております。

今後とも引き続き、ご支援ご協力のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

高等養護学校をつくる会 会長 利根川 嘉子



